

【企画もの】

# カラー名称の謎

## ～全97色系統分類表付き～

奈良女子大学文学部

藤原綾乃

### 「映え」を意識した手帳・ノートづくりブーム

SNSで「映え」という言葉が流行してから、様々なものに「映え」を意識する傾向が現代人にはある（特に若者世代）。そのうちの1つが手帳・ノートづくりだ。ではそれらを「映え」させるにはどうすればいいのか。そこで登場するのがカラーペンである。

2020年の文房具屋さん大賞にて三菱鉛筆のEMOTTが大賞を受賞した。受賞要因の1つに全40色というカラーバリエーションの豊富さが挙げられる。例えば同じ緑色でも明度や彩度が異なるだけで色味の違いを生み出すことができる。自分の好みに応じて系統をそろえることができるのも魅力だ。

ではこうした種類が豊富なカラーペンの「色」にはどのような特徴があるのか。どの色が多いのか、また色名称にはどのようなこだわりがみられるのかについてみていこう。

### カラーペンの比較方法

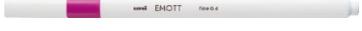
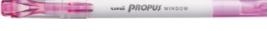
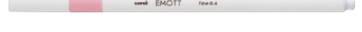
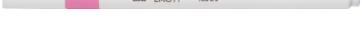
検討するカラーペンは2020年の文房具屋さん大賞にて大賞を受賞したEMOTT（三菱鉛筆）及びカラーペン部門上位3位のクリックカート（ゼブラ）、プラマン40周年限定カラー（ぺんてる）、プロパス・ウィンドウカラーマーカータ입（三菱鉛筆）の4種である。各カラーバリエーションに基づき「青系」や「赤系」などに分類する。

色名はまず「基本色名」というもので分けられる。これは1969年にバーリンとケイが発表した研究によるもので、地域や文化に依らず共通する色名11色である。これをもとにして白を除いた10色（名称の日本語訳：赤、桃色、茶色、橙、黄、緑、青、紫、灰、黒）について検討していく。

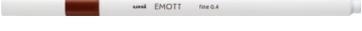
### 赤系統

EMOTT	クリッカート	プラマン	プロパス
 バーミリオン	 ベビーレッド		 スモークレッド
 レッド	 赤		 レッド
 レッドワイン			

### 桃色（ピンク）系統

EMOTT	クリッカート	プラマン	プロパス
 コーラルピンク	 サーモンピンク		 ピンク
 ピュアピンク	 チェリーピンク		 ライトピンク
 ピンク	 ピーチピンク		
 ベビーピンク	 ピンク		
 ライトピンク			

### 茶系統

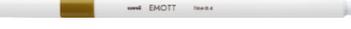
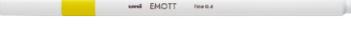
EMOTT	クリッカート	プラマン	プロパス
 ダークブラウン	 ココアブラウン	 セピア	
 ブラウン	 ダークブラウン		

	 ライトブラウン		
	 茶		

### 橙系統

EMOTT	クリッカート	プラマン	プロパス
 オレンジ	 オレンジ		 スモークオレンジ
 ライトオレンジ	 ペールオレンジ		
 ベージュ	 レッドオレンジ		
	 マリーゴールド		

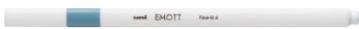
### 黄系統

EMOTT	クリッカート	プラマン	プロパス
 イエロー	 黄		 ライトイエロー
 ストローイエロー			
 ダークイエロー			
 ブライティエロー			
 レモン			

### 緑系統

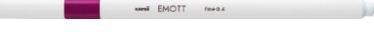
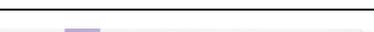
EMOTT	クリッカート	プラマン	プロパス
 アップルグリーン	 ビリジアン	 オリーブグリーン	 グリーン
 エメラルドグリーン	 ブルーグリーン	/	 スモークグリーン
 カーキグリーン	 ミントグリーン		/
 グリーン	 ライトグリーン	/	
 パイングリーン	 リーフグリーン		/
 ブルーグリーン	 緑	/	
 ライトグリーン	/		/

### 青系統

EMOTT	クリッカート	プラマン	プロパス
 サククスブルー	 アクアブルー	 ターコイズブルー	 スモークブルー
 スカイブルー	 スモーキーブルー	/	 ブルー
 ターコイズ	 ターコイズブルー		/
 ブルー	 パールブルー	/	
 ライトブルー	 ライトブルー		/

	 青		
--	--	--	--

紫系統

EMOTT	クリックカート	プラマン	プロパス
 アイリスパープル	 マゼンタ	 バーガンディ	 ライトバイオレット
 アメジスト	 ラベンダー		
 バイオレット	 紫		
 フューシャ			
 モーブ			
 ライトバイオレット			
 ライラック			

灰色系統

EMOTT	クリックカート	プラマン	プロパス
 グレー	 グレー	 ダークグレイ	 スモークグレー
 シーフォグ	 ブルーグレー		

## 黒系統

EMOTT	クリッカー	プラマン	プロパス
 ブラック	 グリーンブラック	 ブルーブラック	 ブラック
	 ブルーブラック		
	 レッドブラック		
	 黒		

## 系統ごとの比較

全商品 97 色（「ブラック」等、同名称は重複カウントしたのべ数）を 10 の系統に分けると以上のようになった。各商品最も多かった色は、下記の通りである。

- EMOTT…緑・紫 各 7 色
- クリッカー…緑・青 各 6 色
- プラマン…茶・緑・青・紫・灰・黒 各 1 色ずつ
- プロパス…緑・青 各 3 色

プラマンは 40 周年限定カラーということで、他の商品に比べると色数が少なく深みのあるカラーラインナップになっている。ここで最も多い色系統は緑である。緑系統の色に共通する点は基本色名である「緑（あるいはグリーン）」を除き、「@グリーン」となっていることである。

## 色名

冒頭で「基本色名」という概念を紹介したが、色の名前はその他にもある。

固有色名…色名のうち、動物・鉱物・植物・人名・地名などの固有名詞に由来する色名

例：サーモンピンク、レモンイエロー、カーキなど

慣用色名…固有色名のうちより広く安定して使われるようになった色名

例：茜色、山吹色、ラベンダーなど

系統色名…基本色名に明るい、鮮やかななどの形容詞を組み合わせた色名

例：ライトバイオレット、パールブルー、ダークグレイなど

今回行った調査の中で最も色数の多かった緑系統は基本色名「緑（グリーン）」を除きこれら3つのうちいずれかに分類することが可能である。

## 終わりに：考察とまとめ

いかがだったでしょうか。今回行った調査によるとカラーペンの中でも緑系統の物が豊富にあることがわかった。また、他系統の色の中にはその名称からだけでは色のイメージが付きにくいものもあったが、緑に関しては「アップルグリーン」や「ミントグリーン」など色を想像しやすいものが多く感じられた。カラーペンを買いに文房具屋に行くと試し書きコーナーがあるが、そこで全色比較するというわけにはいかない。こうしたときに色のイメージが付きやすいものは消費者側からすると手にとりやすくなる要素の一つになっているのではないだろうか。

また、カラーバリエーションとしては緑系統が多かったが各系統で重複している色名はどれくらいあるだろうか。そして、先に商品化をされてしまうと他者は同じ色名での発売が難しくなるだろうか。ここでは4商品について比較をしている。そこで改めて同じ色名があるか確認してみよう。なおここに列挙しているものは一言一句全く同じものである。

- 赤系…レッド
- 桃系…ピンク、ライトピンク
- 茶系…ダークブラウン
- 橙系…オレンジ
- 緑系…グリーン、ライトグリーン、ブルグリーン
- 青系…ブルー、ライトブルー、ターコイズブルー
- 紫系…ライトバイオレット
- 灰色系…グレー
- 黒系…ブラック

第一に、色数の多いEMOTTとクリッカーは色名が似ているものの全く同じということがほとんどない。「基本」色名でさえ表記がカタカナと漢字と異なっている。この2つは本体のベースデザインが似ている（下図）。



EMOTT（レッド）



### クリッカー (赤)

このことから同じ色名だと商品名を区別することが難しいために同じ赤でも表記を変えているのではないかと考えられる。

また、同じ色名になりやすいものとして「ライト」を含んだものすなわち系統色名が挙げられる。系統色は基本色に「明るい」や「鮮やか」といった形容詞を加えたものなので色をイメージしやすいと考えられる。そのため汎用性が高く色名として用いられやすいのではないだろうか。

今回は4つのカラーペンの色について検討していったが、それだけでもかなりのバリエーションがあった。「映える」ノートづくりには欠かせないカラーペンであるが、色名は同系統のものであっても全く同じ色名の物は少ない。そのため企業ごとに色名の表記には違いが生じることがわかった。今後できるのであれば同企業の商品群の中で色名に違いはあるのか、さらに比較するカラーペンの数を増やしてみたらどうなるのかなども検討してみたいところである。

#### 【参考文献・ウェブサイト】(すべて最終閲覧は2020.07.24)

- ・MOOK 本『有名店のプロが厳選! No.1 文房具が決定! 文房具屋さん大賞 2020』扶桑社、P.8~11,30~31
- ・三菱鉛筆: EMOTT <https://www.mpuni.co.jp/special/emott/index.html>
- ・ZEBRA: クリッカー <https://www.zebra.co.jp/pro/clickart/>
- ・ぺんてる: ニュー&レトロな水性ペン「プラマン」40周年限定カラー  
<https://www.pentel.co.jp/special/10803/>
- ・三菱鉛筆: プロパス・ウィンドウ カラーマーカー  
[https://www.mpuni.co.jp/products/felt\\_tip\\_pens/marker/propus/window\\_color.html](https://www.mpuni.co.jp/products/felt_tip_pens/marker/propus/window_color.html)

---

#### 『文具に関する論考と企画: 奈良女子大学文具ゼミ 2020』

〔2020年度「文化社会学演習」WEB版報告書〕 <https://bungu-narajo.org/>

---

2020年8月1日 編集・発行 国立大学法人奈良女子大学文学部

人文社会学科文化メディア学コース小川伸彦研究室編

〒630-8506 奈良市北魚屋西町 E-mail [ogawanobuhiko@cc.nara-wu.ac.jp](mailto:ogawanobuhiko@cc.nara-wu.ac.jp)